

# 建学の精神を踏まえて教育改革を推進 時代が求めるリーダーの育成をめざす

## 海城中学校・高等学校

リベラルでフェアな精神を持つ「新しい紳士」の育成を教育目標に掲げる海城中学校・高等学校は、創立100周年を迎えた翌年の1992年を「改革元年」と位置付け、「国家・社会に有為な人材を育成する」という建学の精神を時代に即して具現化するための教育改革をスタートさせた。以来20年、改革が成果を上げていることは高い進学実績にも表れている。同校の教育とはどのようなものか、教頭の中田大成先生に話を伺った。

### 時代が求める「新しい学力」と「新しい人間力」を育成

「新しい時代に適応できる」「国家社会に有為な人材」の条件、資質とはどのようなものでしょうか。中田 グローバル化が進む現代社会に必要とされるのは、人間力と

学力をバランスよく備えた人材である、私たちは考えています。しかも、ここで言う人間力、学力とは、時代が求める「新しい人間力」「新しい学力」でなくてはなりません。「新しい人間力」については二つの要件があります。グローバル化が進み、価値観が多様化した成熟社会では国内外を問わず、異質な人間同士が関わって生きていかなくてはなりません。そこで求められるのはまず対話的、ダイアロギックなコミュニケーション能力です。また、異質な者同士が集まってお互いの良いところを引き出し合えば、シナジー効果で高いパフォーマンスを生み出すことができます。

な人間同士が関わって生きていかなくてはなりません。そこで求められるのはまず対話的、ダイアロギックなコミュニケーション能力です。また、異質な者同士が集まってお互いの良いところを引き出し合えば、シナジー効果で高いパフォーマンスを生み出すことができます。学力をバランスよく備えた人材である、私たちは考えています。しかも、ここで言う人間力、学力とは、時代が求める「新しい人間力」「新しい学力」でなくてはなりません。「新しい人間力」については二つの要件があります。グローバル化が進み、価値観が多様化した成熟社会では国内外を問わず、異質な人間同士が関わって生きていかなくてはなりません。そこで求められるのはまず対話的、ダイアロギックなコミュニケーション能力です。また、異質な者同士が集まってお互いの良いところを引き出し合えば、シナジー効果で高いパフォーマンスを生み出すことができます。



海城中学校・高等学校 教頭 中田 大成先生

大人が現場でどんな苦勞をしているかを自分の目で見てくることはキャリア教育の上でも有効です。

このレポート作成を中1、中2では学期ごとに行い、中3では原稿用紙30〜50枚の卒業論文として仕上げます。テーマは医療制度や不登校の問題、商業戦略などさまざま。これらの論文は形式的にも内容的にも完成度が高く、学外からも評価され、大手メディアなどでも度々紹介されています。人間力の育成でも、そのような特別な授業がありますか。

中田 先ほど申し上げたコミュニケーション能力やコラボレーション能力を育成するために導入しているのがPA（プロジェクトアドベンチャー）というアメリカで開発された体験型プログラムです。専用の施設で、アクティビティを通して



高尾山にある専用施設を使って行われるPAの授業。みんなで協力して課題をこなし、コミュニケーション力、協働力を育成する



演劇の手法を利用した体験学習DE。登場人物の内面を感じ取り、人と人との距離や人の視線を身を持って理解していくことで、コミュニケーション力を高める

### 完全中高一貫化でさらなる現役合格率の向上をめざす

教育改革の成果は進学実績にも表れています。例年、難関大学に多数が合格されていますね。中田 本校の生徒の大半は、東大

をはじめ国立大を志望しています。二次試験は記述が多いですから、その点でも新しい学力、新しい人間力の育成はプラスに働いていると思います。特に論文入試、面接に力を入れている医学部受験には有効でしょう。本校は医学部志望者が多く、小論文講座や面接練習などもきめ細かく行っています。受験を取り巻く競争的環境は厳しくなっています。本校ではカリキュラムをより効率化させて現役合格率を増やすために、今年から完全中高一貫化に踏み切りました。また、共生教育を進めるため



中3で取り組む卒業論文。いずれも綿密な取材と深い考察に支えられた力作ばかり。章・節仕立てで、末尾には参考文献等も付く

### 問題解決能力を養う体験型プログラムを積極導入

「クリティカルシンキングの力」を養うために、どのような教育をされていますか。中田 問題解決型の能力を身につけるには、アクティブラーニングや共同学習といった生徒参加型の授業形態が有効です。このため中学では1992年から、社会科学で探究型の総合学習の時間を設けています。自らテーマを設定し、企業や役所などへ取材に行き、文献を調べ、自分で考え、ディスカッションを行い、価値評価をしてレポートにまとめます。12歳の生徒が企業などに電話でアポを取って、取材に行くのは勇気がいりますが、

に、今年から中学で海外帰国生を1学年30名受け入れることにしました。帰国生は主体的な生徒が多いです。さまざまな体験談が聞けます。周囲の生徒たちには大きな刺激となっています。最後に今後の取組みについてお聞かせください。

中田 西欧のエリート養成で使われているIB（インターナショナルバカロレア）ディプロマというプログラムがあります。西欧伝統の人文主義的な教養を中等教育レベルで持たせるもので、国際化時代の育成プログラムとして確立されています。この20年間の改革で基盤はできましたので、今後はこうしたプログラムを研究して哲学的な思考の訓練もさせながら、グローバル社会の真のリーダーを育てていきたいと考えています。

#### 学校のプロフィール

##### 海城中学校・高等学校

- 所在地：〒169-0072 東京都新宿区大久保3-6-1
- JR山手線「新大久保」駅より徒歩5分、JR中央線「大久保」駅より徒歩10分、東京メトロ副都心線「西早稲田」駅より徒歩5分、JR山手線・東京メトロ東西線・西武新宿線「高田馬場」駅より徒歩12分
- 電話：03-3209-5880
- 校長：水谷 弘
- 創立：1891年
- http://www.kaijo.ed.jp